



1 / 6・7

会場を埋め尽くす新作約8300点 美濃焼新春見本市2022

美濃焼の新作が集う「新春見本市2022」がセラトピア土岐で開かれ、市内の119社から約8300点が出展されました。コロナ禍での開催となりましたが、感染対策が徹底された会場には、2日間でバイヤーなど約1400人が来場しました。また、新型コロナの影響で会場に来れない方に向けた、各社のホームページやSNSに案内する2次元コードを発行する取り組みも始まりました。



1 / 14

ぼくの わたしの考えた 学校給食 食育マイスター賞の表彰

市給食センターでは、毎年小学6年生の児童から学校給食の献立を募集し、旬の食材や地産食材を使った栄養バランスの良いものを「ベスト食育マイスター賞」として選出し、表彰しています。土岐津小学校では、加藤叶暖さん(左から2人目)の献立が選ばれ、この日の給食に採用されました。加藤さんは「旬の食材を取り入れて、小さな子どもでも食べやすいように工夫した」と話していました。



1 / 15

みんなで土岐のくらしを豊かにしよう！ 「土岐くらしのラボ」ワークショップ開催

平成28年度に始まった「土岐くらしのラボ」。市民・企業・行政の枠組みを超えた新たな協働のまちづくり活動が、再びスタートしました。全7回にわたり開催するワークショップには、年代も職種もさまざまな約30人が集い、まちの課題探索や参加者一人一人の強みを生かしたアイデアづくりを行い、新たなまちづくり活動の立ち上げを目指します。



1 / 19

貴重な文化財を守るため 白山神社で消防訓練

1月26日の「文化財防火デー」を前に、市指定文化財の「狛犬」「大狛犬」を保有する白山神社(泉中窯町)で消防訓練が行われました。訓練は、かがり火が林野に飛び火したという想定のもと、神社関係者による通報や初期消火、文化財の搬出訓練を実施。その後、駆け付けた消防隊が放水を行い、火災から貴重な文化財を守るための一連の流れを確認しました。

12 / 16

「とき丸」の新デザイン制作 土岐紅陵高校に感謝状贈呈

市教育委員会のマスコットキャラクター「とき丸」の新たなデザインを制作した土岐紅陵高校に同委員会から感謝状が贈られました。新デザインは、タブレットの操作や給食を食べる様子など、学校生活を描いたイラストを中心とした24ポーズ。制作した生徒は「小中学生に喜んでもらえるよう、どれだけ可愛く、動きで表現するか考えるのが面白かった」など、感想を語りました。



12 / 21

濃南中学校芸術祭 黒板アートで思い出を表現

濃南中学校で芸術祭が行われ、生徒たちが黒板アートに挑戦しました。黒板アートは、コロナ禍で開催できない合唱祭の代わりに行事として生徒会が企画したもので、「クラスの思い出」をテーマに、学年ごとに分かれて制作しました。1年を振り返りながら、仲間と協力して作り上げた生徒たちは、お互いの作品を鑑賞し合い、思い出に浸りました。



1 / 9

新成人の門出を祝福 令和4年土岐市成人式典

令和4年土岐市成人式典が文化プラザで開催され、約400人の新成人が出席しました。今年のテーマは「愛をつなぐ～生きる、新たな時代～」。これからの時代を力強く生きていこうという思いが込められています。また、民法改正による成人年齢引き下げに伴い、「成人式」に代わる新名称についての意見募集も行われ、令和5年以降の式典の名称は「土岐市二十歳を祝う会」に決まりました。

